

『源氏物語～ミレニアムガールズトラック～（仮）』

キャストオーディション 一次選考用課題テキスト

（1か2どちらかを選んでください）

1

ある時、私はパリにいました。

中流階級で育ち、幼い頃から自分の様々な可能性を信じていました。でも家族や周りとはそうではなくて、「女は勉強するな」と言われたり、いつも窮屈でした。「女性はこういうもの」という生き方ではなく、自分が自分として生きていけるか、ということに常に考えました。ともに考えを深め合う相手もいました。彼とはたくさん対話をしたり、いろんなところへいきました。日本にも行ったんですよ。2人で男女の新しい形を試していきました。正直、うまくいくことばかりではなかったです。いろんな感情に振り回されもして、めんどくさいなあと思うこともありました。

私はこれまでの古い社会の仕組みや考えを、自分の立場で問い続けました。

わたしは一人一人の人生がけがれの無い澄みきった自由であることを願っています。

2

うち、今、父が帰ってこなくて、あ、そういう話じゃないんですけど、で、母は大学行けって言って、家がこんな状態だし、母を安心させるためにも大学に行った方が、きっといいんだろかな、なんて思うんですけど、やりたいことないから、大学行く？でも、それってなんだか違う気がして、ユウちゃんは就職だし、モカも、自分で東京の大学とか留学とかデザインしたいって言って、なりたい自分像、みたいのあって

今、私にやりたいことがないから、だから、やっぱり大学に行くっていうのも、いいと思う。思うんだけど、でもそのまま行っちゃうと、母親のルールにはまるといっか、母の人生は、母の人生で、私の人生は私の人生だし、自分でいろいろ決めていきたい。し、決めていくべきだとも思う、けど、選択肢がいっぱいありすぎるっていうか…